

平成30年度 第2回 千葉県県土整備公共事業評価審議会 審議結果一覧

No	所管課	事業名 路線又は箇所名等	事業概要	評価の 理由	審議結果
1	道路整備課	社会資本整備総合交付金 (道路事業) 一般国道410号 久留里馬來田バイパス	圏央道・木更津東ICにアクセスするとともに、久留里市街の交通安全性の向上や南房総地域における観光振興等に寄与することを目的とし、君津市広岡から袖ヶ浦市高谷までの延長15.7kmのバイパス整備を行う。 ・総事業費 197億円 ・事業期間 S60～H35 ・事業延長 15.7km	②	継続
2	道路整備課	社会資本整備総合交付金 (道路事業) (主)越谷流山線バイパス (仮称)三郷流山橋	慢性的に混雑している流山橋周辺地域の交通混雑の緩和、及びつくばエクスプレス沿線開発に伴う新たな幹線道路ネットワークの強化を目的とし、江戸川を渡河する橋梁を含むバイパス整備を行う。 ・総事業費 170億円 ・事業期間 H25～H34 ・事業延長 1,960m	②	継続
3	道路整備課	社会資本整備総合交付金 (街路事業) 都市計画道路3・3・3号 藤崎茜浜線	習志野市の京成津田沼駅周辺に集中する通過交通の分散や、ボトルネック踏切からの交通の転換による都市交通の円滑化を目的とし、JR総武本線及び京成本線等との立体交差(跨線橋)を含むバイパス整備を行う。 ・総事業費 150億円 ・事業期間 H9～H37 ・事業延長 635m	②	継続
4	道路整備課	社会資本整備総合交付金 (街路事業) 都市計画道路3・3・1号 東習志野実籾線	習志野市の内陸部と京葉道路及び幕張新都心を結ぶ幹線道路となっており、交通の流れを阻害している踏切を除却し、交通の円滑化と歩行者の安全性の向上を図るため整備を行う。 ・総事業費 71億円 ・事業期間 H9～H37 ・事業延長 607m	②	継続
5	道路整備課	社会資本整備総合交付金 (街路事業) 都市計画道路3・5・26号 鬼高若宮線	市川市と印西市を結ぶ幹線道路であり、交通の流れを阻害している踏切を除却し、交通の円滑化と歩行者の安全性の向上を図るため整備を行う。 ・総事業費 80億円 ・事業期間 H11～H37 ・事業延長 465m	②	継続

6	河川整備課	社会資本整備総合交付金 (河川事業) (一)利根川水系 根木名川・派川根木名川・十日川	根木名川は、富里市根木名地先に源を發し、成田市内を流れて利根川に合流する一級河川である。根木名川上流の未改修区間における市街地や、成田国際空港をはじめとする流域の開発への対応、度々浸水被害が発生している十日川等、根木名川流域一帯の浸水被害の軽減を図るため、河川改修を実施する。 ・総事業費 93億円 ・事業期間 H20～H49 ・事業延長 根木名川15km、派川根木名川3.3km、十日川3.1km	②	継続
7	河川整備課	社会資本整備総合交付金 (河川事業) (二)海老川水系 海老川・飯山満川	海老川は、船橋市金杉町、馬込町付近に源を發し、支川の飯山満川等を合流し、東京湾に注ぐ二級河川である。流域内は市街化が進展しているほか、土地区画整理事業が進められていることから、浸水被害の軽減を図るため、築堤、掘削、調節池整備等の河川改修を実施する。 ・総事業費 627億円 ・事業期間 S51～H50 ・事業延長 海老川2.7km、飯山満川2.8km	②	継続
8	市街地整備課	社会資本整備総合交付金 (土地区画整理事業) 金田西地区	東京湾アクアラインの着岸地である金田西地区において、「千葉県の新たな玄関口」として、商業・業務、居住等の多様な都市機能が集積した都市づくりを目指して、千葉県施行により、土地区画整理事業を進めている。 ・総事業費 251億円(予定) ・事業期間 H10～H35(予定) ・事業面積 110.8ha	②	継続

【評価の理由】 ① 事前評価：事業の計画段階において、事業着手の必要性や妥当性を評価するもの。

② 再評価：事業採択後一定期間を経過した後も未着工である事業、事業採択後長期間が経過している事業の事業継続の必要性や妥当性を評価するもの。

③ 事後評価：事業完了後の事業の効果、環境への影響等の確認を行い、必要に応じて適切な改善措置を検討するとともに、事業評価の結果を今後実施する同種事業の計画等に反映させるもの。

○問合せ先

担当課	電話番号	備考
県土整備政策課	043-223-3121	総括
道路整備課	043-223-3171	道路事業
道路整備課	043-223-3270	街路事業
河川整備課	043-223-3165	
市街地整備課	043-223-3547	